

◇休診のお知らせ◇

5/3～5/7まで
休診とさせていただきます。
何卒ご了承ください。

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。
予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。
検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が
変わりました

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第52号をお届けします。バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/> 最近の通信はマンネリ化し、何度も同じことを書いているようになって嫌です。突然発行しなくなったらごめんなさい。さて、4月1日はエイプリルフールでした。品のいい冗談は人間関係を豊かにするものだと思っていますが、悪質な嘘はいけませんよね。幼い頃に、「仮病」を使ってしまったことがあります。似た言葉に「詐病」があります。「仮病」がその場しのぎの言い訳などに使われることが多いのに対して「詐病」は何らかの利益を得ることを目的とした虚偽の行為を指すようです。誓って言いますが、私の場合は「詐病」ではなく、あくまで「仮病」でした。「仮病」を使ったことある人はその時どんな症状を「訴え」ましたか？私は「お腹が痛い」「頭が痛い」などの「痛み」、少し難しく言うと「感覚障害」を「訴え」ました。その当時ご迷惑をかけた方々本当にごめんなさい。

今月の話題は『**感覚障害**』です

当クリニックにいらっしゃる患者さんたちの『感覚障害』には『頭痛』『耳鳴り』『めまい』『しびれ』など様々な形がありますが、これらを評価することは、実はかなり難しいことです。その一つの理由は『感覚障害』は目視することができないからです。皮膚の切創などを見ると、多くの方はその程度を感じることができますが『頭痛』や『耳鳴り』などは見ることはできません。二つめの理由は『感覚障害』の多くは検査で把握できないからです。『めまい』や『しびれ』などの原因は現代の検査レベルではわからないことの方が圧倒的に多いと個人的には思っています。人間の感覚は千差万別ですので『訴え』を受け取る側の対応により『感覚障害』は大きくその扱いが変わる可能性があります。『感覚障害』は学校や社会にて時に『仮病』『詐病』とされることがあるようです。医療現場にてさえも起こってしまうことがあると耳にしたことがあります。患者さんたちの『訴え』『感覚障害』を真摯に伺うことが医療の第一歩であったはずなのに、検査の発展とともに、その辺りがやや、ないがしろにされている傾向があるのかもしれませんがね。患者さんの『感覚障害』に対して検査機器を駆使してできる限り理論的に評価する努力をしながら、評価しきれない『訴え』を真摯に受け止めることができる、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。

70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック